

大麦管理特報 No.2

令和5年11月
黒部市
黒部市農業技術会議

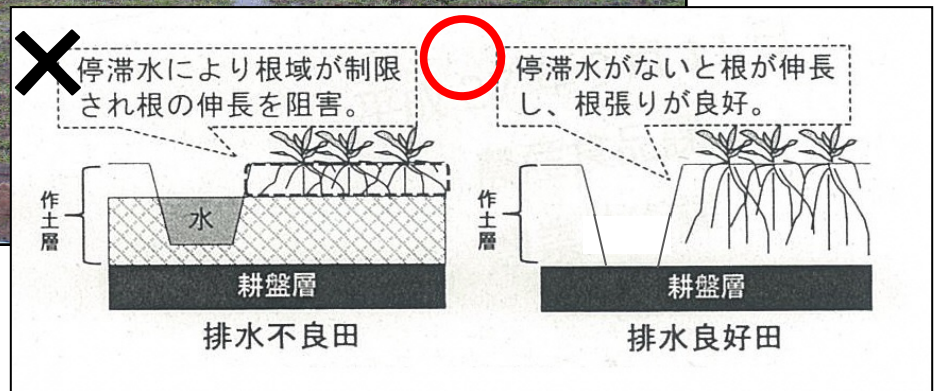
本年の大麦は、播種時期はやや遅れ気味となりましたが、気温が高めに推移していることから、概ね平年並みに生育しています。

今後は、ほ場の排水対策や追肥を的確に行い、越冬前の生育量を確保しましょう。

排水対策

- ① 排水溝が排水口まで連結されているかを再度確認し、ほ場内に水が溜まらないように随時手直しする。
- ② 降雨後に停滞水が残っているようであれば、新たな溝を掘るなどして畝の表面に溜まる水を排除する。

【降雨後のほ場の様子】



分施肥体系の場合：播種1ヶ月後追肥(年内追肥)の施用

※追肥は11月中旬までを目途に遅れずに施用し、年内生育を確保する。

施肥時期	肥料名	施用量
播種1か月後	硫安	20 kg/10a

注) 基肥にエコ大麦44号を使用した場合、追肥は必要ありません。